

価値ある生成AIの

プロダクト開発・社会実装

生成AIの幅広い知見と実績に基づく

AIプロダクト開発とコンサルティング支援

Explaza

生成AI Partner

Nextech week 2025 秋 10/8～10/10

生成AI活用における課題

AIソリューション/プロダクト導入における「よくあるお悩み」

1

AI SaaS導入したけど...

- ユーザーが使いこなせない
- わざわざ別のツールを立ち上げるのが面倒
- 現場業務と乖離していて定着しない

2

自社開発したいけど...

- 開発リソース・AIノウハウが不足しており、体制が組めない
- デモ・PoCはできたが、本番移行の設計ができない

3

既存システムと連携したいけど...

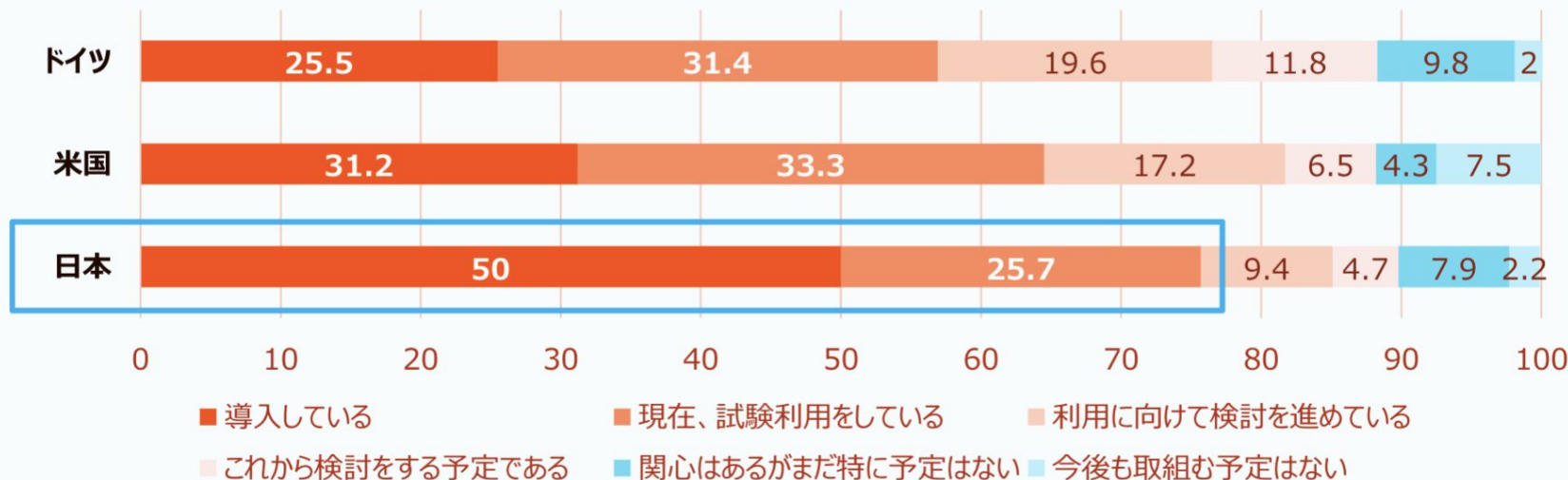
- 既存システムとの連携要件が複雑で詰まる
- 認証基盤統合が難航してしまう
- セキュリティ要件でストップする

日本企業の現状 | AI導入率は国際レベルで高い日本

- 日本企業のAI導入率は、試験利用を含めると 2024年時点で75%を超えており、世界水準でも高い。

生成AIの導入状況

(2024年時点、従業員規模 1,001人以上)

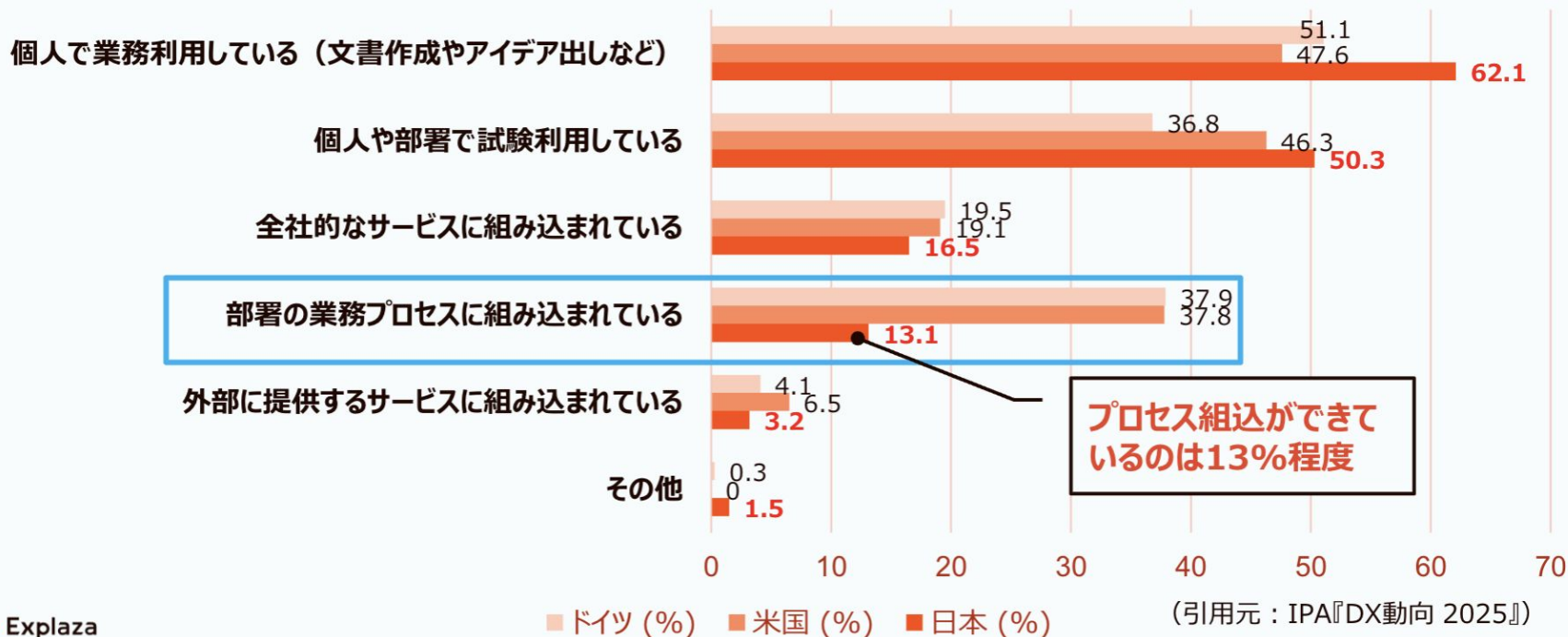


(引用元: IPA『DX動向 2025』)

日本企業の現状 | AI導入率は高い、だが成果は出ていない

- 活用シーンは個人利用にとどまっており、業務プロセスへの組み込みに遅れが生じている。

生成AIの具体的な利用状況（国別）

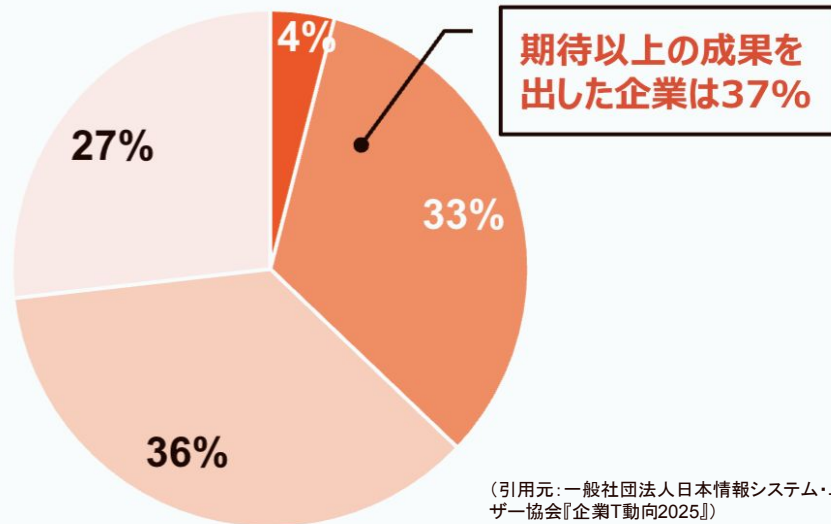


日本企業の現状 | AI導入率は高い、だが成果は出ていない

- 「期待以上の成果を実感している」割合は 4割弱にすぎない。

生成AI導入による成果

- 期待を大きく超える効果があった
- 概ね想定どおりの効果であった
- 期待値には至っていないが一定の効果はあった
- 期待した効果はまだ得られていない・わからない



多くの企業が「環境構築」で止まっており、生成 AIで効果を生み出せていない

サービス概要

EXPLAZAのサービスライン

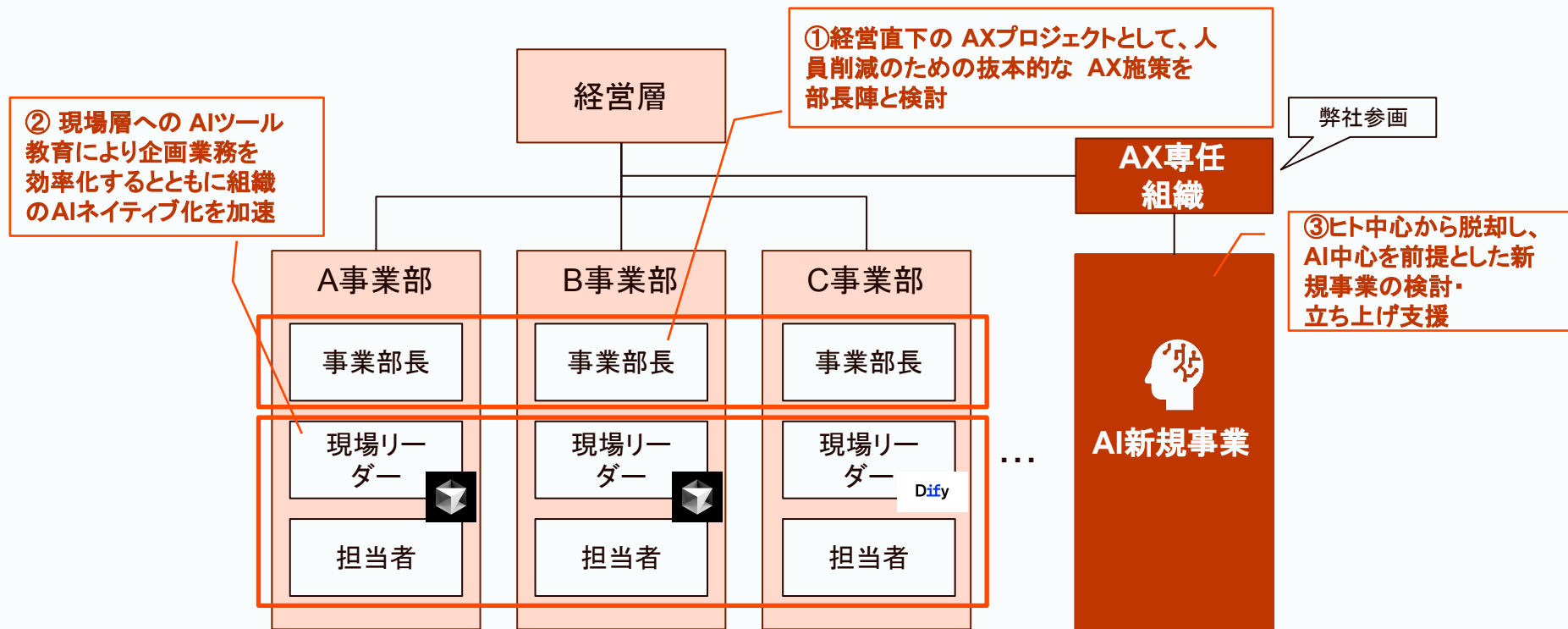
EXPLAZAが提供するサービスライン

AX	AX戦略策定	既存事業の在り方に囚われない、生成AIによる抜本的な改革戦略を策定します。
	組織・人材 AIネイティブ化支援	ローコードツールやコーディングアシスタントなど、生成AIツールを使いこなすスキルをワークショップなどで教育し、組織変革を伴走支援します。
	業務AX支援	あらゆる領域を対象に生成AI活用を前提とした業務見直し～施策実行を支援します。
	新規事業開発支援	生成AIを活用した新規ビジネスモデルの企画からPoC・MVP開発～プロダクト本開発まで一貫して支援します。
DX	DX構想策定	AXを見据えた既存業務のDX構想策定支援を行います。
	DX実行支援	システム刷新PMOからRPA/OCRなどのデジタルツール導入など、幅広い領域でDX推進を支援します。
AIプロダクト / AIエージェント開発支援		AIエージェントの基盤構築から開発、既存システムのエンハンス、アプリ構築などを支援します。

AX(AI Transformation)

AX | AX戦略策定

AX戦略: インターネット情報サービス企業における AX戦略策定・組織変革支援



経営層の強いコミットメントを引き出し、トップダウン / ボトムアップの両面で事業・組織全体の AXを支援

AX | 人材・組織 AX

人材・組織AX:勉強会開催・アプリ開発にとどまらない伴走支援

Dify (ローコード開発ツール)を活用したメディア運営企業組織 AX

AI・ローコードツールの威力を徹底周知

- 勉強会開催だけでなく、「実際に現場で成果が出るアプリ」も合わせて提供

Dify勉強会



記事生成アプリ

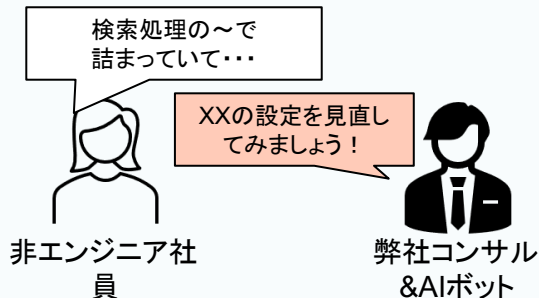


Dify

記事あたりの作成工数を 8H→2Hへと大幅削減
「論より証拠アプローチ」で現場の心をつかむ

現場担当者のアプリ開発をサポート

- 勉強会の内容実践(開発チャレンジ)をハンズオン支援



開発面も手厚く寄り添うことで
現場の挫折を防止し、勢いを加速させる

ローコードツールによる業務 AX自走化

- 現場のビジネスサイドの担当者がローコードアプリ開発スキルを獲得



非エンジニアでも AIを活用し、
業務課題を解決できる人材・組織へ

AX | 組織・人材 AX

- 貴社の dify 活用レベルに応じて、提供メニューをカスタマイズいたします。

提供メニュー

集合研修

Dify 勉強会

- ・ 初級編: Difyの基礎を学び、自分の
タスク効率化ができる状態にする
- ・ 中級編: よりよい効率化企画を立て
るためのノウハウを学ぶ

Dify ハッカソン

- ・ 実際に効く事例創出を目指す
- ・ 上級者の活躍の場であり、
中級者の育成とモチベート、次な
る
スタープレイヤー発掘を狙う

Cursor 勉強会

- ・ プロマネ、企画業務の効率化を
目標にcursorを活用した
AIPMの使い方を学ぶ

ハンズオン支援

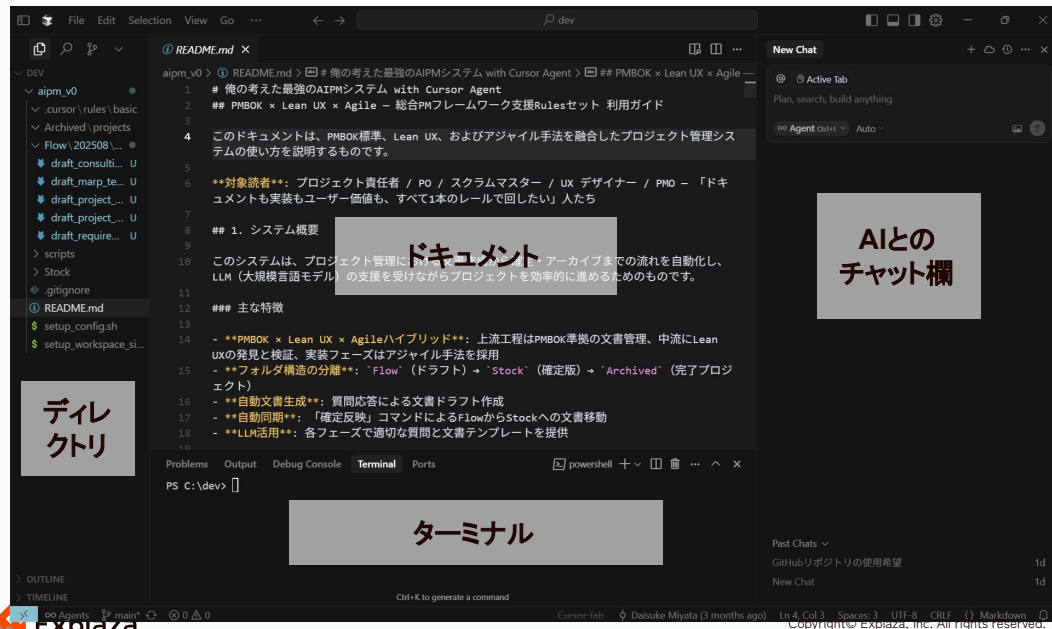
開発サ ポート

- ・ 勉強会やハッカソンを経て、
現場メンバーが開発をする際
の
相談対応を弊社コンサルタントと
AIボットが実施

AX | 組織・人材 AX(Cursor)

- Cursorとは、AI機能が搭載されたコードエディタです。(VS codeベース)
- チャット指示だけでAIによるコード生成・補完ができるほか、個別にrules(AIに対する参照ドキュメント)を設定すると定められた制約に基づく挙動を取るようカスタマイズすることができます。

操作画面



主要な機能

コード 自動生成

- チャット指示だけでAIが自動でコーディング
- デバッグも自動で対応

チャットでの 質疑応答

- 生成したドキュメントについて質問するとAIが回答

Rulesによる 挙動制御

- ユーザーが指定した制約通りにドキュメントなどを生成するように

開発効率が劇的に向上

AX | 組織・人材 AX(Cursor)

- Cursorの持つエージェント的な生成機能とプロマネノウハウを掛け合わせて、プログラミング以外の企画業務への応用を実現しています。

AIPM概要

- ✓ Cursorのもつエージェント的な自動生成機能をプログラミング以外の業務へ適用可能にしたもの
- ✓ ドキュメントも実装もユーザー価値も 1本のルールで回す



Cursor

ドキュメント
自動生成

チャット質疑
応答

Rules制御



AIPM

PdMノウハ
ウ

PMBOKフ
レーム

アジャイル手
法

AIPMによる効率化事例

- ✓ プロマネや企画職が普段行っている業務を効率化した実績

プロジェクト
計画策定

議事録生成
→WBS反映

企画書など
スライド作成

求人票・スカウト
自動生成

プロジェクト
進捗管理

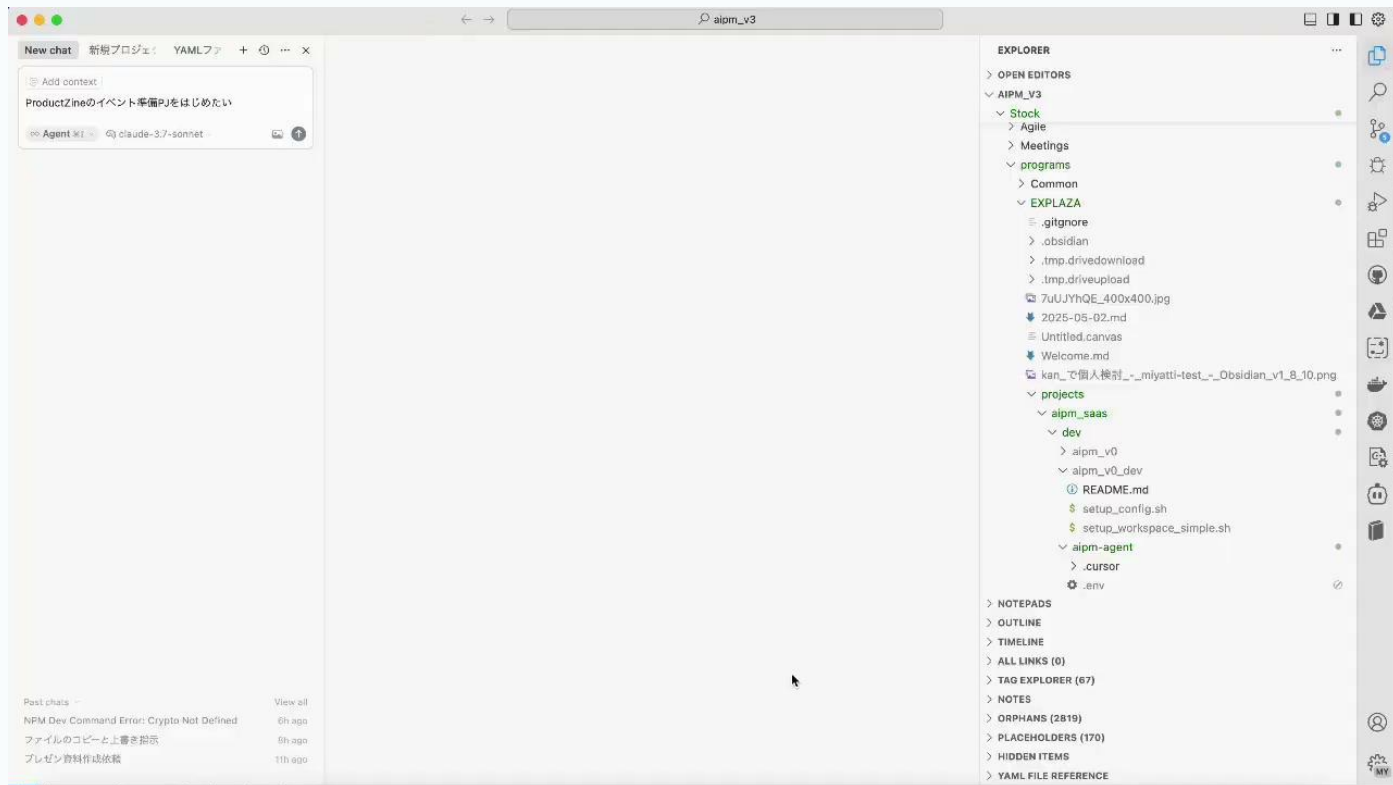
応募者
スクリーニング

事例リサーチ

etc...

AX | 組織・人材 AX(Cursor)

- AIPMが具体的にどのような動きをするのかご覧ください。



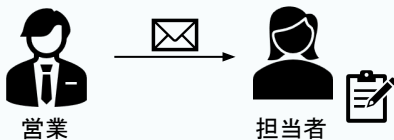
AX | 業務AX

業務AX: 大手ネット決済事業における審査業務の AIワークフロー化

現状業務

審査依頼

- 営業からメールなどで依頼を受け取り、excel台帳へ転記



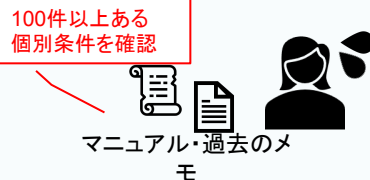
情報収集

- 依頼内容をもとに審査判断に必要な情報を検索・収集



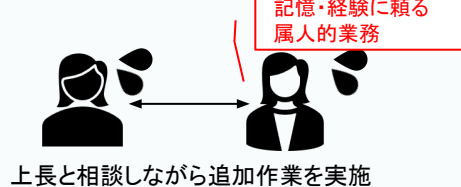
審査項目チェック

- 社内ルールや過去のメモなどを参考に審査チェック



審査判断・相談

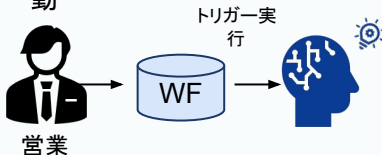
- 依頼によって個別の情報収集を行い、上長と最終判断



将来業務

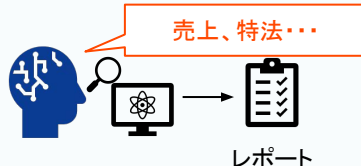
審査依頼

- 営業が審査対象の企業名とURLをSlack WFに入力
- 入力をトリガーにAIフロー起動



情報収集

- AIが情報検索し、審査基準に沿ったチェック結果をレポート (14/15項目)



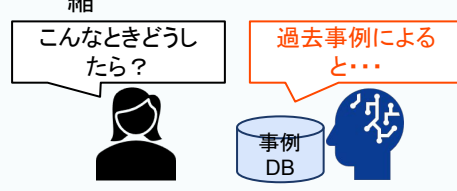
審査項目チェック

- AIにレポートを確認し、一部人間による対応・判断を実施



審査判断・相談

- 判断に迷う場合、AIポットに相談することで待ち時間短縮



AX | 業務AX

生成AI業務選定イメージ

- ワークショップを通じてユースケース(有望な業務)を選定し、モックアップ開発までクイックに実施します。
- デモレベルで実際に動くモックアップから開発対象を選定することで納得感のある計画を策定 します。

成果に繋がる業務を選定

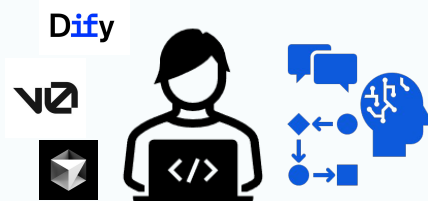
- 業務理解の深い部長・リーダー層に対して、AI技術の知見をインプット
- 弊社コンサルタントと共にワークショップを通じて効果と実現性の高い業務を特定



生成AIに関する
弊社からのインプット



課題志向で
業務選定



AIを駆使し、
高速プロトタイピング
(弊社環境)

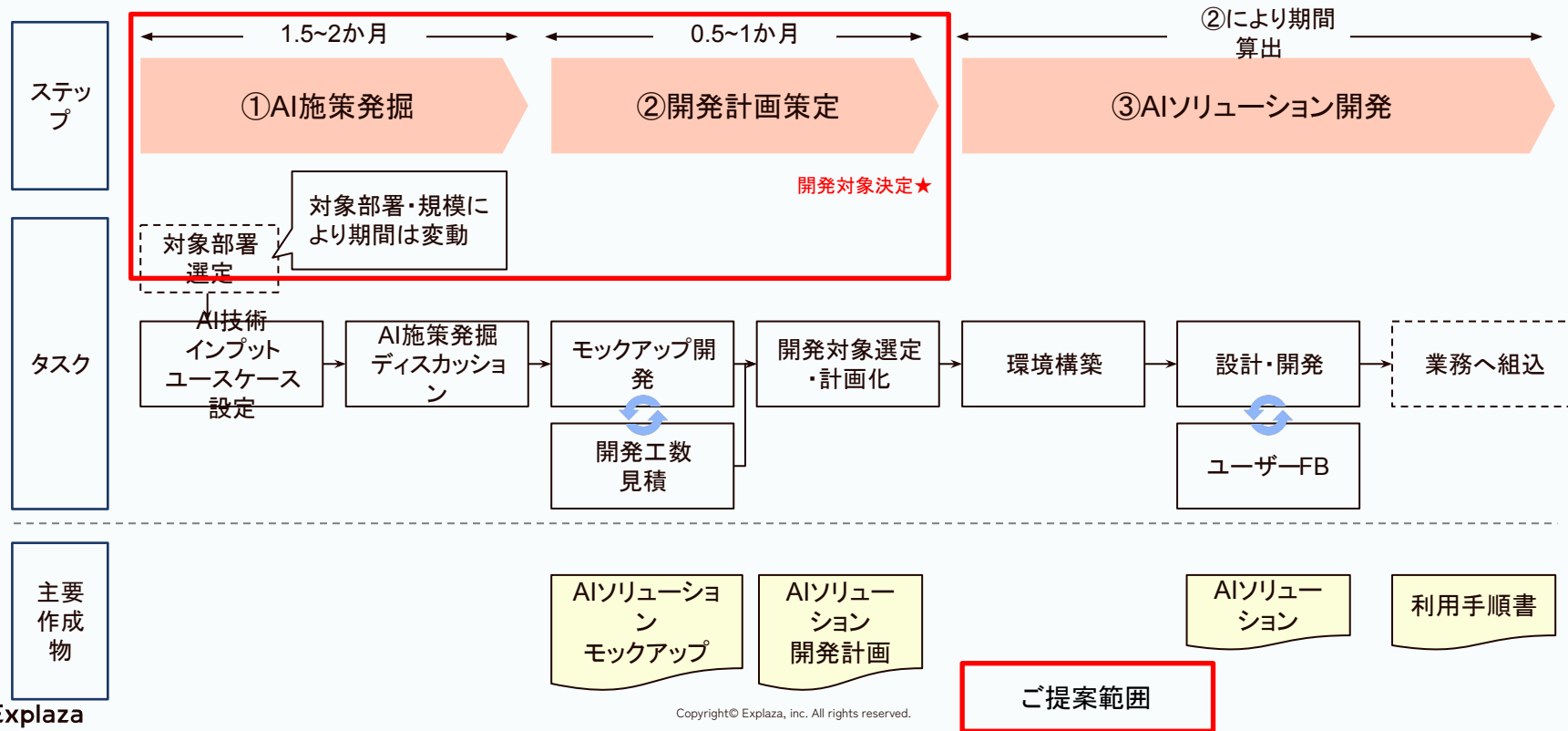


モックアップリストから本
開発対象を選定

AX | 業務AX

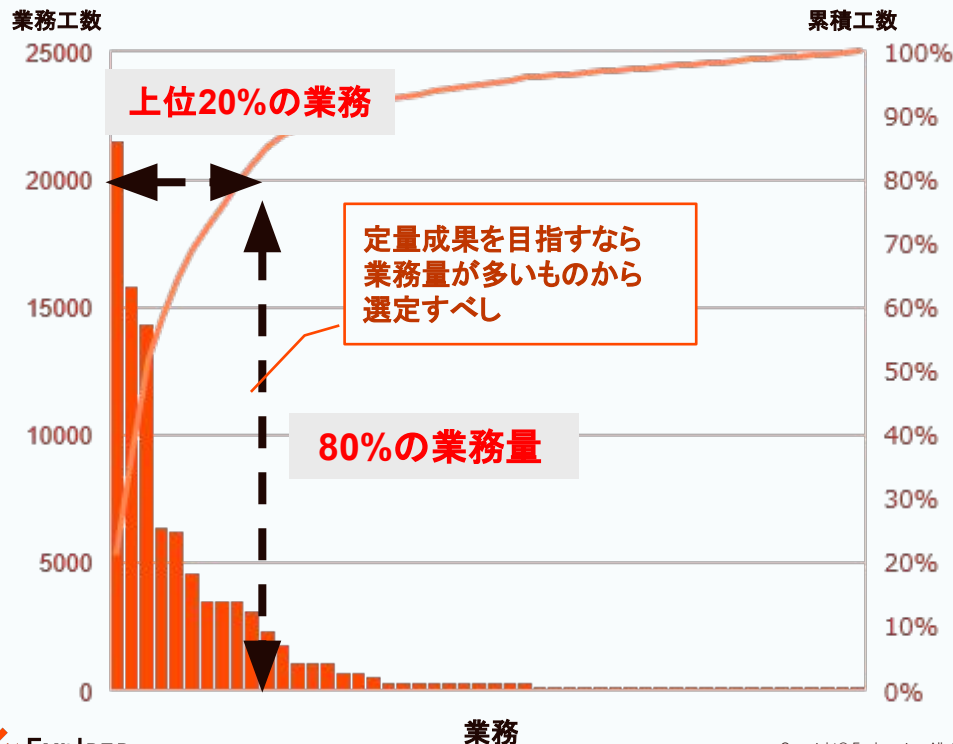
プロジェクトアプローチ例:生成 AIによる業務効率化構想支援

- クイックな成果創出を目指し、短期間で開発計画を策定し、スムーズな開発フェーズへの移行を実現します。

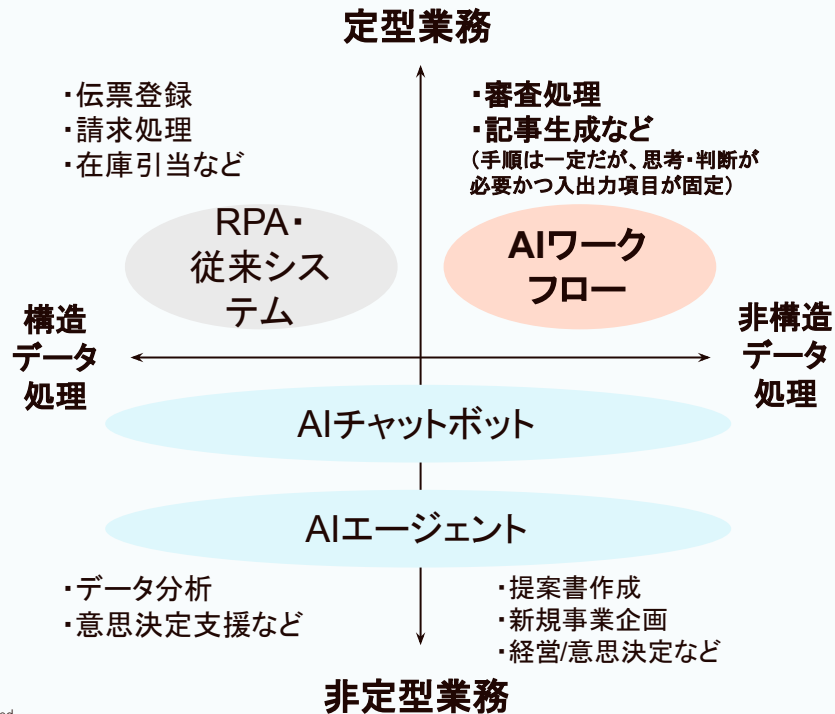


業務選定観点 | 業務量と AIが活きる業務タイプの見極め

業務量分布はパレートの法則に従う



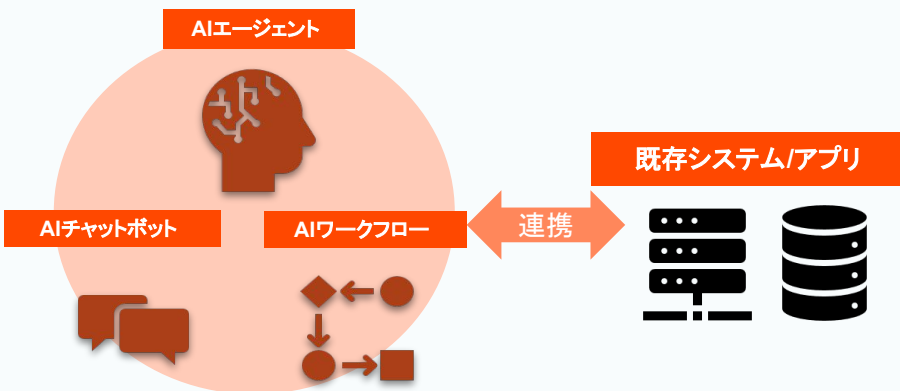
業務タイプとAIソリューションの関係



AIエージェント・プロダクト開発

エキスプラザの開発支援の特徴

幅広い開発守備範囲



業務要件を踏まえたAIソリューション実装から
既存システム連携までカバー

確かな支援実績

クライアント業界

建設・不動産

コール
センター

人材業

金融・保険

開発事例

AI
エージェント

ワークフロー

システム
エンハンス

チャットボッ
ト

業界問わず豊富な開発事例

弊社のAIソリューション開発実績

- 生成AIを組み込んだソリューション開発の実績が多数あり、経験豊富なエンジニア陣がクイックなモックアップ開発を実現いたします。

#	ソリューション内容	開発期間(本番)
1	会計FAQチャットボット	2人月
2	求人票自動作成ツール	3人月
3	メディアサイト上の記事検索・要約チャットボット	2人月
4	報告書・計画書などの書類作成自動化 SaaS	3人月
5	販促物(POP・サイネージなど)レイアウト自動作成ツール	5人月
6	官公庁向け生成AI基盤とRAGチャットボット構築	1人月

プロジェクトイメージ

フェーズごとにスコープを設定し、要件に応じて最適な人員をアサイン

	2025											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1. フェーズ A		要件定義 技術検証・ プロトタイプ開発										
2. フェーズ B			要件定義 技術検証・ プロトタイプ開発		開発			実証実験				
3. フェーズ C										内容検討		

※ あくまでイメージです

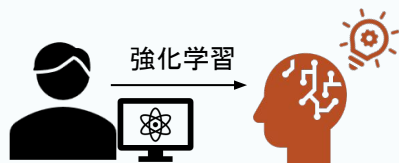
他社様との協業

- 主にプロダクト開発支援において、株式会社松尾研究所様を筆頭に、クライアントニーズに応じて得意領域を分担してプロジェクト推進する体制を取っています。

松尾研究所との協業

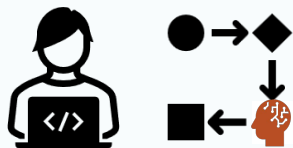
- 松尾研究所の強みを生かし、セキュアな環境で高品質な回答を生成するモデルを開発。
- 松尾研究所のモデルの威力を実務で最大化するためのアプリ設計・開発・運用をエクスペラザが担当。

生成AIモデル開発 (松尾研究所社)



クライアントニーズに応じた
モデル開発

AIアプリ設計・開発 (エクスペラザ)



AIをアプリに組み込み

UIUXデザインに強みを持つ A社との協業

- 顧客課題にもとづくUIUXのデザインに強みを持つ A社がカスタマージャーニーの策定・企画を担当。
- PoC実施からアプリ開発～導入支援までエクスペラザが担当。

カスタマージャーニー策定 (協業先 A社)



インタビューを通じたCJM含む
上流設計

AIモデル設計・アプリ開発 (エクスペラザ)



開発・PoC～運用改善まで
伴走

特徴・強み

生成AIの領域における専門性とプロダクト品質により、認められてきた実績

豊富な支援実績

生成AI法人様向け お問い合わせ数

4,000 突破

生成AI PoC

50+

生成AI 本開発

30+



生成AIに関する
多種多様な問い合わせをいただき、
お客様のニーズに合わせた
最適なソリューションを提案可能。

国内最大級AIメディアのAISmileyでも
”PRODUCT AWARD”を2冠受賞。

一部取引先

AIプロダクトの開発力と、AIに関する幅広い知見を駆使し
価値ある生成AIのプロダクト開発・社会実装を推進



×



技術力とUI/UXの専門性を有する

AIプロダクト開発の知見

本番展開に向けた

AIOps構築経験と運用体制

東京大学 松尾・岩澤研究室における研究成果を基盤とした

アカデミアにおける深層学習領域への知見

大手企業をはじめとする

先端技術の社会実装ナレッジ

プロダクトで事業を作るエクсплаザと、AIに関する技術知見を有する松尾研究所が、資本業務提携の先に目指す「生成AI革命」

© 2025/01/15



2025年、生成AIの社会実装は新たなフェーズを迎えています。

生成AIを活用し、多くのDX推進の取り組みや新規事業が生まれています。また、日本国内としては労働者不足や生産性向上が大きな課題に。そんな中、2025年1月14日、株式会社エクсплаザと株式会社松尾研究所が資本業務提携を発表しました。

AIを活用したプロダクト開発に強みを持つエクсплаザと、AIに関する技術知見を有する松尾研究所のキーパーソンが、今回の提携の背景や今後の取り組みについてお話しします。

対談記事



松尾 豊 (Yutaka Matsuo)
株式会社松尾研究所 技術顧問



村上 将一 (Shoichi Murakami)
株式会社松尾研究所 取締役 執行役員 AI開発事業 ディレクター

“他の企業でもAIに関しての連携を行うケースも多いですが、ここまで高い解像度で提携しているケースはそれほど多くはない” と思います。

シリコンバレーでは、例えばAIの学習ひとつをとっても、モデルの学習のためのフレームワークや学習状況のモニタリング、データの作成管理、GPU運用管理、アプリケーションの作成管理など、非常に高い解像度でさまざまなサービスが提供されています。

産業が成熟していくとこのように解像度が上がっていき、細かい分業が起るものだと思います。そうした意味でも、今回の連携が国内での先進的な良い事例になることを期待しています。”

“エクсплаザと資本業務提携を決めた理由は3つあります。

1つ目は、何より**生成AIをはじめとしたプロダクト開発の解像度が高いこと**。エクсплаザは多くの先端技術をキャッチアップされていて、コミュニケーションに不自由を感じません。

2つ目は**アウトプットのクオリティ**で、松尾研究所のシステム開発ユニットのメンバーからの評判も高いです。

3つ目はやはり**スピード感**。松尾研究所としては良いものを素早く作っていくことは社会実装を世の中に浸透させていくうえでも重要だと考えています。提携する企業様にもこのスピード感を求めており、ここにおいてもエクсплаザは機動力があり、資本業務提携を決めた理由になっています。”

生成AI法人様向け お問い合わせ数

4,000 件突破

生成AI PoC

50+ 件

生成AI 本開発

20+ 件



Alsmiley
PRODUCT
AWARD 2023
AUTUMN



Alsmiley
PRODUCT
AWARD 2024
SPRING

取引先または
取引先のサービス



リノべる。

STARX

WillAccordSquad

会計検査院
Board of Audit of Japan

euiofins

(tefu)

fint

IDC アイディーエー

松尾研究所

axalpha

セキュリティ認証について : 国際規格に基づく ISMS 認証を取得

情報セキュリティマネジメントシステム
ISMS 認証取得



ISO / IEC 27001:2022

生成AIを活用したPoCなら

EXPLAZA

認証登録組織	株式会社エクスプラザ
認証基準	JIS Q 27001:2023(ISO/IEC 27001:2022)
認証登録番号	JP24/00000249
登録範囲	法人向け生成AI活用・開発支援および自社サービスの開発・運用・保守
認証登録日	2024年9月2日
認証機関	SGSジャパン株式会社

情報セキュリティマネジメントシステム(以下「ISMS」)の国際規格である「JIS Q 27001:2023(ISO/IEC 27001:2022)」の認証を取得済